

地質調査委託仕様書

1. 目的

構造物基礎の設計及び施工に必要なすべての資料をもとめるために行い、敷地内の地盤構成、基礎の支持力、沈下、基礎の施工に影響する範囲内の地盤の性質を求める。

2. 調査方法

敷地内の4箇所について下記調査を行う。

- 1 ボーリング（ロータリーボーリング4箇所 延べ40m）
- 2 標準貫入試験（JISA1219-61による） 40回
- 3 採取資料は地層の変化するごとに、プラスチック容器に入れ、密閉の上、保存箱に入れる。資料には、深さ、地質名、貫入試験打撃回数を記入する。

3. 調査、報告事項

- 1 敷地の状況、調査位置、基準点と調査位置の地盤高さの関係。
- 2 ボーリングによる地質柱状図。
 - I 各地質層の標高、深さ、層厚。
 - II 土質記号、土質名、相対密度及びコンシステンシー、色、臭い、その他の観察記録。
 - III 孔内水位及びその変動。
- 3 標準貫入試験結果の記録。
- 4 推定地層断面図。
- 5 基礎に対する考察。
- 6 試験の状況を指示する写真。

4. 成果品等

- 1 調査報告書 A4版製本 2部
- 2 地質標本 1組

5. その他留意事項

- 1 ボーリングは延べ40mとしているが、その箇所での所要の深さについてはその都度担当職員の指示により決定する。
- 2 日々の状況、地質の変化（岩盤、転石、崩壊）については、その都度担当職員に報告する。
- 3 ベンチマーク調査位置は担当者立ち会いのうえで決定し、その目印を付近構造物に印す。